

インフルエンザの 治療薬について

-おくすりの話 vol.13- 薬剤部 白井 友基



今年の冬もインフルエンザが流行しています。
皆さんも、人込みに出る時はマスクをしていますか？
当院では来院された方のためにマスクをお配りしていますので、是非ご利用下さい。

- Point ①.インフルエンザはまず予防。マスク、うがい、手洗いを！
- Point ②.インフルエンザのお薬は、途中で止めず、最後まで服用して下さい。
- Point ③.妊娠中。授乳中の方にも、抗インフルエンザ薬は服用できます。



Point ① インフルエンザの流行が広がらないよう、国や市では常に動向をチェックしています。各ホームページ上で流行や予防に関する情報が公開されていますので、ご覧ください。インフルエンザは個人個人での予防が効果的とされています。うがい・手洗いはしっかりと行いましょう。

Point ② 現在インフルエンザに対して使われる「抗インフルエンザ薬」は主に4種類です

抗インフルエンザ薬は、インフルエンザウィルスが増えるのを抑える効果があります。ウィルスを減らすお薬ではないため、発熱が治まってもウィルスはまだ身体に残っています。処方されたお薬は、途中で止めず最後まで服用して下さい。

タミフル®カプセル

- 内服薬（飲み薬）
- ・ 1カプセルを1日2回、5日間
- ・ 昔から使われているお薬
- ・ 10歳以上の未成年の患者には原則使用しません



リレンザ®

- 吸入するお薬
- ・ 1日2回吸入、5日間
- ・ 直接肺に入って効くため、全身に影響する重い副作用が少ないお薬です
- ・ 器具の操作が必要



イナビル®

- 吸入するお薬
- ・ 長く効くため、1回の服用で終了
- ・ 病院や薬局で受け取り、その場で薬剤師の説明を受けながら吸入できます



ラピアクタ®

- 点滴用のお薬
- ・ 長く効くため、1回30分程度の点滴で終了
- ・ 内服も吸入も難しい方にも使用できます



以前、「異常行動」について大きく報道されましたが、抗インフルエンザ薬によるものと断定されていません。現在は、10歳以上の未成年の患者が抗インフルエンザ薬を服用する際は少なくとも2日間は一にならないうよう、保護者の方に注意喚起をしています。抗インフルエンザ薬には、他のお薬との飲み合わせの問題はありません。服用しているお薬は、基本的にはそのまま続けて服用して頂くこととなりますが、可能なお薬手帳などをご持参ください。

Point ③ 妊娠中の方、授乳中の方は抗インフルエンザ薬を服用できるのでしょうか？

日本産科婦人科学会などの報告によれば、タミフル®、リレンザ®については既に多くの妊婦が服用しており、胎児への影響はないと考えられています。むしろ、妊婦ではインフルエンザが重症化が胎児にも影響してしまう場合もあります。予防をしっかりと行い、感染してしまった場合は早めに病院に掛かりましょう。

授乳については、抗インフルエンザ薬の投与中でも授乳に問題はないと、日本産科婦人科学会や妊娠と薬情報センターが報告しています。



新しいお薬であるイナビル®、ラピアクタ®については情報が集められているところです。

お薬や病気について、ご不明なこと、気になることがありましたら、いつでも薬剤師にご相談下さい。

インフルエンザは、お薬と同時に、まず予防がとても大事な病気です。マスク、うがい、手洗いで、ご自分とご家族を守りましょう。